

教 師 ノ ー ト

日付	2013年 6月 9日
単元	創世記・1
テーマ	天地創造
タイトル	すべてを造られた神さま
テキスト	創世記 1:1-2:3
参照箇所	ヨハネ 1:1-5、イザヤ 44:24、使徒 17:24-26、黙示録 1:8、4:11、コロサイ 1:16-17
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	創世記 1:1
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	小上 1 巻 1 題 2 課 、 小下 2 巻 1 題 1 課 、 幼 2 巻 10 題 1-6 課 、 中 1 巻 1 題 1 課
メモ(情報・例話など)	<p>神さまが創造主であることを正しく理解して信じることは、救いや世界観、すべてのことのもとになる重要なことです。特に子どもたちが、幼な子の素直な信仰でこの真理を受け入れることは非常に有益なことです。確信をもって語れるように祈り、聖霊さまの助けをいただきましょう。</p> <p>□導入</p> <p>1. メッセージを始める前に、この単元(創世記1～11章)では世界のはじめに起こったできごとについて、大切なお話を聞くことを伝えましょう。</p> <p>2. 興味を起す質問をしましょう。</p> <p>例1: どんなお話(本・マンガ・ドラマ)でも、その始まりの部分を聞き逃してしまうと、あとの部分は理解できません。私たちが生きているこの世界のことも、その始まりのことを知らなければ、その意味が理解できません。世界はどのようにしてはじまったと思いますか? この世界はだれがどのようにして造ったのでしょうか?</p> <p>例2: あなたはアサガオのタネから花が咲くまで育てたことがあるかもしれませんが、そのタネは初めどうやって造られたのか考えたことある? あの小さなタネからどうしてアサガオが育つのかな? アサガオのタネをつくることができたとしたら、その成長に必要な土や水や太陽はどうやってつくるのかな?</p> <p><u>暗唱聖句を読み上げます</u></p> <p>□ポイント1 神さまはこの世界の「はじめ」だよ</p> <p>どのように世界が創造されたかを語る前に、神さまが「初めの初め」であることをしっかり伝えましょう。天地が造られる前は、「地」の形がなく、何もないところに、「大いなる水」があったというのは、光もなく、何もない状態ですので、明確に説明するのは難しいでしょう。しかし、それ以前から存在していたのは神だけという事実はハッキリしています。はじめにおられた神だけが、この世界を造ることができたのです。また、無から有を造り出されるのも神だけです。現代の科学技術は電気を利用して光をつくったり、今やクローン生物をつくることはできます。しかし長い歴史の中で、何もないところから新しく光や命をつくり出すことは、神以外のだれもできた者はいないのです。</p> <p>☞1章1節はテキスト全体をまとめた独立節で、2節以降はその詳細の説明と考えれば理解しやすいでしょう。</p>

□ポイント2 この世界にあるものは、全部神さまに造られたんだよ

ここでは、創造の7日間を(1章3～31節)を説明します。1.光、2.空と海、3.陸と植物、4.太陽、月、星、5.空と海の動物、6.陸の動物と人間。1日ごとに創造されたものを絵に描いてボードに貼り付けていくなど、視覚で理解を深める工夫をしましょう(小下2巻1題1課p8-10に簡潔にまとめた話し方と視覚教材の例があります。小上1巻1題2課も参照)。

☞第7日に神が休まれたのは、疲れたからではありません。すべてがみこころのとおり完成し、そしてそれが非常によかったからです。「創造の完成記念日」として祝福し聖なるものとされたと言えれば子どもにも分かりやすいかもしれません。(このメッセージアウトラインでは安息日制定の根拠には詳しくふれていません。)

☞創造の日については、24時間説、長期間説、枠組み説、啓示の日説など色々あります。この教師ノートでは、どの説を支持するというのではなく、単純に第1日、第2日…という表現を使っています。小学生には、聖書に書いてあるとおりに教えることが最も重要です。

□ポイント3 神さまの偉大な力をほめたたえよう

創造主ご自身がご覧になって「非常によかった」ように、この世界は本当にすばらしい！子どもたちが、心から「神ってすごい！」と感じて、偉大な創造主を賛美できるように、身近な例をあげて語りましょう。

神さまの造ったものは美しい

青い空、夕焼け空、星や月を見て、きれいだなあと思うでしょう。バラ・ゆり・チューリップなどをよくみてみましょう。あの形や色は偶然にできたのでしょうか？鮮やかな色の熱帯魚のデザインは、神がしたのでなければ誰がしたのでしょうか？

神さまが造ったものは大きい

太陽の大きさを野球のボールに例えると、地球は1ミリよりも小さくなります。太陽の重さは地球の33万個分と同じです。地球から太陽への距離は約1億5千万キロメートルです。太陽から地球に届くエネルギーの量は、原子力発電所(100万キロワット)が2億箇所必要になるほどです。今から新幹線で太陽を出発し、いちばん近い恒星に到着するのは約1500万年後です。

神さまが造ったものはよく考えられている

神は大きな宇宙を造られましたが、何でも大きかったら大変です。ダイコンが東京タワーほどの大きさだったらどうなるでしょう。リンゴが東京ドームくらい大きさだったら食べにくいでしょう。また、顔が逆さま(クチが上で目と鼻が下)だったら、ゴハンが食べにくくて仕方ありません。雨が真っ赤な色で、雪が紫色だったら、どうなると思いますか？みんなが困らないように、神はちゃんと考えてこの世界を造られました。

□結論 全宇宙にあるすべてのものは、神さまによってつくられたんだよ

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

あなたは、美しい自然(山、海、川、太陽、花、空気…など)を神さまが造って、私たちに与えてくださっていることを信じて感謝しているかな？ほんとうの神さまだけが、このすばらしい世界を造ることができたんだよ。造り主なる神さまを心から信じて、その偉大な力をほめたたえよう。